# 高校3年の時、初めて銭湯のアカスリに行って若い女の子スタッフにおちんちんを見られてしまった体験談

高校3年の冬、受験勉強の疲れがピークに達していた頃の話。

偏差値の高い私立高校に通っていた僕は、毎日机に向かって問題集を解き続け、運動不足で体が重く、肌もカサカサになっていた。友人の一人が「たまには体をほぐせ。近くの銭湯にアカスリがあるから行けよ」と勧めてきた。アカスリなんて聞いたことはあったが、実際に行ったことは一度もなかった。興味本位

でとある土曜日の午後にその銭湯へ足を運んだ。

銭湯は住宅街の奥にひっそりとあり、外観は古いが、中は清潔だった。男湯の入り口で番台のおじさんに「アカスリお願いしたいんですが」と声をかけると、「奥の部屋で女の子がやってるよ。脱衣所で服を脱いで、タオル一枚で待ってて」と言われた。女の子？ スタッフが女性だと知って、心臓が一瞬跳ねた。でも「よくあることなんだろう」と自分に言い聞かせ、男湯の脱衣所に入った。

服を脱ぎ、下着も外して全裸になる。鏡に映った自分の体は、勉強漬けで少し青白かった。薄いタオルを腰に巻き、指定された個室へ向かう。ドアをノックすると、「はい、どうぞ」と若い声が返ってきた。

中に入ると、そこには20歳前後くらいの女性スタッフが立っていた。ショートカットで、白いユニフォームを着て、笑顔が明るい。名前を「ミカです」と名乗った。思ったよりずっと若い子で、僕より少し年上くらいに見えた。彼女は「高校生さん？ 初めて？ じゃあ優しくやるね」と気さくに話しながら、ベッドのような台を指差した。

「まず仰向けになってください。タオルはそのままで大丈夫ですよ」